

福島民友

第39476号

2014年

5月21

しょうまん
小満

発行所 福島市柳町4-29
郵便番号 960-8648

福島民友新聞社

電話代表(024)523-1191

編集局(024)523-1390

販売局(024)523-1472

振替口座 02180-8-5070

©福島民友新聞社 2014

THE FUKUSHIMA MINYU

東電によると、初回は地下水約560トンを放出する。午前10時に作業を始め、約2時間で終わる見通し。地下水の放射性物質濃度は国と第三者機関を交えた水質分析で、トリチウムが最大で1ヶ当たり240ヶ(東電基準1ヶ当たり15

00ヶ)などいずれも基準値を下回っている。20日には同協議会のほか、相馬双葉漁協といわき市漁協にも計画をあらためて説明、異論はなかったとしている。同協議会で東電は、第三者機関を交えた水質分析の徹底による東電基準の順守

一方、同協議会は汚染水管理で人為ミスが相次いできた経緯を踏まえ、東電と国に対策の徹底を重ねて要請。専門家は「人為ミスは

関税、2国間で集中協議

TPP、7月に首席会

【シンガポール共同】小(TPP)交渉参加12カ国がシンガポールで開いた閣僚会合は20日、共同声明を

取りまとめ、関税などについて今後数回に集中してを明記した。今回は実現筋合意に向けを急ぐ。

長谷川ファミリー

酒井俊幸さん

渡辺為雄さん

福島民友新聞社は創立記念日の20日、県民の荣誉となる功績のあった個人・団体を顕彰する「第24回みんゆう県民大賞」の表彰式を福島市の本社で行い、「芸術文化」「スポーツ」「ふるさと」の各賞に輝いた1団体と2個人の功績をたたえた。【3面に関連記事】

大陸上競技部監督の酒井俊幸さん(37)は石川町出身、ふるさと賞は常磐炭田の歴史を後世に伝えるため「みろく沢炭鉱資料館」を開設し、館長を務める渡辺為雄さん(88)はいわき市が受賞した。

栄誉と誇り 笑顔の受賞

みんゆう県民大賞

芸術文化賞は親子で20年以上、県内外でコンサート活動に取り組む長谷川ファミリー(福島市)、スポーツ賞は箱根駅伝で東洋大を3度の総合優勝に導いた同

表彰式では、神田俊甫福島民友新聞社長が「福島民友は今後もふるさと・福島の再生、復興に向けて県民と共に歩んでいく。受賞された方の一層の活躍を祈念する」とあいさつ、長谷川ファミリーの長谷川朝子さん(59)ら受賞者に正賞の盾と賞状、副賞の50万円をそれぞれ贈った。



神田社長からみんゆう県民大賞を受ける(前列右から)芸術文化賞・長谷川ファミリーの朝子さん、弘樹さん、千鶴さんら受賞者

遠藤 栄夫
鏡石 法
町長選

第24回 県民大賞表彰式



県民大賞を受賞した(前列左から)酒井さん、長谷川朝子さん、渡辺さんと(後列左から)長谷川ファミリーの弘樹さん、千鶴さん

経営理念
社は読者のためにある

県内の芸術文化やスポーツ、ふるさととの振興に努めた個人・団体を顕彰するため20日、福島の福島民友新聞社で行われた「第24回 技部監督酒井俊幸さん(37)

復興支援へ活躍誓う みんゆう県民大賞喜び新た

「石川町出身、ふるさと賞のみろく沢炭鉱資料館長渡辺雄さん(88)」「いわき市がそれぞれ受賞の喜びをかみしめ、本県復興に向けて一層の活躍を誓った。」

【一面に本記】

長谷川ファミリーは、ハープ奏者で声楽家の長谷川朝子さん(59)とバイオリン奏者の長女千鶴さん(31)、チェロ奏者の長男弘樹さん(27)の親子3人がこれまで800回以上の演奏会を県内外で開くなど、生演奏を聴く機会の少ない地方の子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えている。

酒井さんは学法石川高を卒業後、東洋大、コニカミノルタで選手として活躍。同高陸上部監督を経て2009(平成21)年に同大監督に就任。箱根駅伝で10、12、14年に総合優勝した。新「山の神」の柏原竜二選手(富士通、いわき総合高卒)ら世界を目指すランナーを育て、選手育成力も評価されている。

渡辺さんは炭鉱の道具や貴重な資料、写真を収集。1989年11月にいわき市内郷白水町の養鶏場を改装し、個人でみろく沢炭鉱資料館を開設、来館者に常磐炭田の歴史を伝えている。展示する用具などは06年に同市有形民俗文化財、07年に国の近代化産業遺産に指定された。

みんゆう県民大賞は、1989年度の創設から毎年1個人・団体を選出し、2003年度の第15回までに5人と9団体、特別賞1人が受賞。福島民友新聞創刊110周年となった04年度の第16回から「芸術文化」「スポーツ」「ふるさと」の3部門を設け、前回の第23回までに芸術文化賞5人と3団体、スポーツ賞6人と3団体、ふるさと賞4人と4団体、特別賞2団体が受賞している。



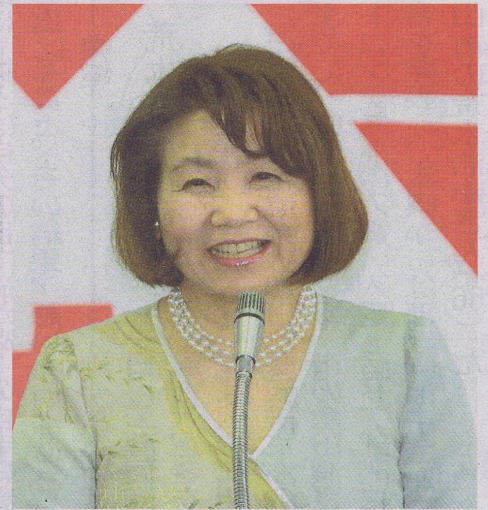
受賞をエネルギーに

ふるさと賞・渡辺為雄さん
昨年常磐炭田の発見者片寄平蔵の生誕200年で、地域を挙げて企画展を開催した。受賞は片寄からのご褒美ではないかと思うほど、人生の祝い事が一度にきた思いだ。資料館に学校の遠足などで多くの来場者が来るようになりうれしい。受賞をエネルギーとして、今後も一生懸命頑張りたい。



世界で戦う選手育成

スポーツ賞・酒井俊幸さん
箱根駅伝では過去5年間に3度の総合優勝を果たすことができたが、いずれも柏原竜二選手ら本県出身者がメンバーとなり優勝に貢献してくれた。箱根駅伝は世界への扉を開くためのレース。東京五輪も控えており、世界に挑戦する選手、県民に応援してもらえ選手の育成に向けて今後も精進したい。



感謝の思い忘れない

芸術文化賞・長谷川ファミリー代表の長谷川朝子さん
少女のころから抱いてきた音楽の夢に向かって家族と共に歩んできた。みんゆう県民大賞の受賞を心よりうれしく思う。受賞の喜びを励みに一層精進し、希望と理想を持ち続けながら進んでいきたい。今まで支えてもらった皆さんへの感謝の気持ちも忘れずに歩んでいく。

ファミリーによるミニコンサートが開かれ、繊細な音色が祝賀ムードを盛り上げ、他の受賞者らの心を和ませた。
コンサートでは、代表の長谷川朝子さんがハープと歌声、長女の千鶴さんがバイオリン、長男の弘樹さんがチェロで「瑠璃色の地球」や「シンドラのリスト」などを演奏し、音楽の魅力を伝えた。

表彰式後に開かれた長谷川ファミリーによるミニコンサート



繊細な音色 祝賀に花
長谷川ファミリー演奏
第24回みんゆう県民大賞の表彰式終了後、会場では芸術文化賞を受けた長谷川